

# おぢや



# 市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 70

25.10.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505



## すみれ保育園

小千谷市の中心市街地から少し北寄りに位置する千田地区（三仏生、千谷、小栗田）の保育園です。

兼業農家が多くなってきたことなどにより保育の必要性が高まり、昭和46年から49年にかけて各町内にへき地保育所が開設されました。昭和60年4月には、三仏生及び千谷のへき地保育所を統合し、認可保育所の「すみれ保育所」として開設されました。その後、名称を「すみれ保育園」に改め、平成14年4月に小栗田へき地保育園を統合して、現在に至っています。園児数は132名で、毎日元気に過ごしています。

- 第3回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2～3
- 一般質問 …… P4～5
- 議会日誌 …… P6
- 雪あかり、編集後記 …… P6

—主な掲載内容—

# 第3回定例会 議決結果

9月2日から9月24日まで開会し、次のとおり議決いたしました。

## 条例の改正

- 小千谷市長及び副市長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市税条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市入湯税条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険税条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市農業集落排水施設整備事業分担金徴収条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市一般会計補正予算(第3号) (全会一致)

## 平成25年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第3号) (全会一致)

○小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (全会一致)

○小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号) (全会一致)

○小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号) (全会一致)

○小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号) (全会一致)

## 平成24年度決算の認定

- 小千谷市一般会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定 (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定 (全会一致)

○小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定 (全会一致)

## その他

○小千谷市道路路線の認定 (全会一致)

○小千谷市教育委員会委員の任命 (起立全員)

○小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任 (起立全員)

## 請願

○消費税増税を中止する意見書の提出を求める請願(不採択)

○「私立高等学校保護者の学費負担軽減にむけ、学費軽減制度の拡充を求める意見書」の採択に関する請願 (採択)

○新聞への軽減税率に関する請願 (採択)

## 発議

○私立高等学校保護者の学費負担軽減にむけ、学費軽減制度の拡充を求める意見書 (全会一致)

○消費税増税にあたり、「複数税率の導入」「新聞への軽減税率適用」を求める意見書 (起立多数)

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案16件のうち、14件は総務文教委員会の単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案13件については、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。請願3件については、2件は採択すべきものとし、1件は採択しないものと決しました。

○議案第67号 小千谷市長及び副市長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消防本部職員の不祥事に対し、その監督者責任として市長及び副市長の給料月額を減額するため条例を改正するものです。

○議案第68号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正に伴い、関係する条文を改正するものです。

○議案第69号 小千谷市入湯税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正に伴い、関係する条文を改正するものです。

○議案第70号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億934万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ186億5011万3千円とするものです。

○議案第71号 平成25年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、国道117号千谷バイパス関連工事に伴う、移転工事に係る増額補正をするものです。

○議案第72号 小千谷市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第73号 小千谷市農業集落排水施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第74号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第75号 小千谷市農業集落排水施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第76号 小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、国道117号千谷バイパス関連工事に伴う、移転工事に係る増額補正をするものです。

○議案第77号 平成25年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第78号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第79号 平成25年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第80号 平成25年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第81号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

本案は、地方税法の一部改正に合わせ、延滞金の利率を引き下げるものです。

(第1号) について

本案は、県道坪野三仏生線改良工事に伴う、管渠の移転工事に係る増額補正をするものです。

○議案第79号 平成24年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

平成24年度歳入決算額は、181億4578万3969円、歳出決算額は176億521万2035円で、差し引き5億4057万1934円となっておりますが、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、4億2910万9934円の黒字となっております。

○議案第84号 平成24年度小千谷市ガス事業会計決算認定について  
業務実績は、前年度に比べ供給戸数は19件減の1万561件、供給量は2・0%増の1850万1519m<sup>3</sup>となりました。経営成績では、2061万3995円の当年度純損失となりました。

○議案第85号 平成24年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について  
業務実績は、前年度に比べ供給戸数は38件増の1万3812件となり、有収水量は0・6%減の437万3544m<sup>3</sup>であり、

経営成績は、1億2119万3994円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に4100万円、建設改良積立金に6千万円を積み立てるものです。

○議案第86号 平成24年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について  
業務実績は、前年度に比べ給水量は13万8464m<sup>3</sup>減の253万8868m<sup>3</sup>となりました。経営成績は、4572万1253円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に4100万円を積み立てるものです。

○議案第87号 平成24年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について  
業務実績は、水洗便所設置済人口は3万3087人で、水洗化率は90・8%となりました。経営成績では、1億5282万5046円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に2億円を積み立てるものです。

○請願第3号 消費税増税を中止する意見書の提出を求める請願採決の結果、賛成多数で採択しないものと決しました。

○請願第4号 「私立高等学校保護者の学費負担軽減にむけ、学費軽減制度の拡充を求める意見書」の採択に関する請願

採決の結果、全員賛成で採択すべきものと決しました。

○請願第5号 新聞への軽減税率に関する請願  
採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案9件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

○議案第70号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について  
本案は、引用する地方税法等の改正により生じた条ずれを修正するものです。

○議案第71号 小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
本案は、延滞金の割合の特例において、延滞金の利率を引き下げるものです。

○議案第75号 平成25年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について  
本案は、平成24年度の医療費

に係る保険給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ2億3万3千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ41億7536万円とするものです。

○議案第76号 平成25年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について  
本案は、平成24年度の介護給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1285万8千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ37億6713万4千円とするものです。

○議案第80号 平成24年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は、40億3039万1304円、歳出決算額37億7749万7022円で、歳入歳出差引額2億5289万4282円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第81号 平成24年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は、35億972万9692円、歳出決算額34億8241万6460円で、歳入歳出差引額2731万3232円

を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第82号 平成24年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は、7億1503万8981円、歳出決算額7億888万2481円で、歳入歳出差引額615万6500円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第83号 平成24年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について  
歳入決算額は、720万9802円、歳出決算額696万3885円で、歳入歳出差引額2万5917円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第88号 小千谷市道路線の認定について  
本案は、県道坪野三仏生線の改良事業に伴い、県から引き継ぐ千谷地内の道路を市道に認定するものです。

会議録の閲覧

録会。会末  
議定。例月  
の定。11  
の回。第3回  
は。第3回は、  
市議会ホームページに掲載  
市議会ホームページに掲載  
市議会ホームページに掲載  
市議会ホームページに掲載

URL  
http://www.city.ojiya.niigata.jp

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 今後の農業政策と 土曜授業導入につ いて

田中 淳 議員

**質問** 未作付農地の推移はどうなっているか。

**答弁** 平成17年が112haで、平成22年には128haとなり12・5%増加している。

**質問** 農地中間管理機構(仮称)の整備事業を推進するためには、農業委員会・JA・農林課において事務局を一本化する必要があると思うが農地集積に向けての施策をお聞かせ願いたい。

**答弁** 議員の質問のように「関係機関による事務局の一本化」

も効果的に進める手段の一つと考える。国からの具体的な方策が示された場合には検討していきたい。

**質問** 魚沼コシヒカリB.L.に、他生産地コシヒカリB.L.混入防止のルーティングについて

**答弁** 生産者に対してはコシヒカリB.L.種もみの購入証明や栽培管理記録簿等で確認できるが、流通段階での他産地の混入について明らかにし防止することは、困難な状況にある。



**質問** 市内小・中学校で通常業務形態で隔週土曜授業を実施された場合の費用について

**教育長答弁** 仮に当市の全小中学校13校で隔週土曜授業を実施し、補助事業ベースで試算した場合、年間事業費は約1050万円と試算される。

**質問** 私は国が掲げる土曜授業に対し推進すべきと考えるが、教育長のお考えを伺いたい。

**教育長答弁** 体験や経験を通して「生きる力」を育むという趣旨で始まった学校週5日制に対

する評価をきちんとしなければならぬ。その評価の上で立つて導入を検討されていく必要があると考える。

### 国保税の引き下げ などについて

風間 健一 議員

#### 1. 国保税の引き下げなど

**質問** 全国7割の市区町村が一般会計から繰り入れて、国保税を一人当たり1万円ほど引き下げています。県内では新潟市、長岡市、妙高市、五泉市、阿賀野市、佐渡市、十日町市などが国保税を軽減しています。

また、受診料(医療費の窓口負担)が重いために、受診回数を減らすなど受診抑制が社会問題になっています。

小千谷市の受診料の減免制度は、国の減免基準のままで、減免された人はいません。

新潟市、長岡市などは国の減免基準を120%まで、南魚沼市では130%まで拡充して所得が国の基準を超えても減免しています。国保税の引き下げと受診料減免の拡充をしていただきたい。

**答弁** 国保制度は加入者の相互扶助だから一般会計から国保会計に法定外の繰り入れをして国保税の引き下げは行わない。また受診料の減免の拡充も行わない。



#### 2. 住宅リフォーム補助金制度

**質問** 住宅リフォーム補助金制度は抜群の経済波及効果があり市民や業者の方に、大変喜ばれています。来年度も引き続き実施をお願いしたい。

**答弁** 年度当初に当制度は今年度限り公表している。今年度で終了したい。

### 防災のまちづくり について

山賀 一雄 議員

**質問** 防災まちづくり拠点施設建設計画について

①現時点での整備状況はどの程度か。②総合計画実施計画になぜ登載されていないのか。③建設時期が遅れている理由は何

か。④今後、どのようなスケジュールで整備するのか。

**答弁** ①平成23年度24年度国土地、民有地を購入し、25年度は取得した用地の整備工事を実施している。関連する②③④は、東小千谷地区都市計画、表沢川改修事業等との整合もあり、整備計画の再検討が必要。したがって現段階では明確なスケジュールは示せず、実施計画にも登録していない。

**質問** 市街地密集地における副次的防災施設等の整備について

①避難所となる既存施設等の耐震化率ほどの程度か。②市街地密集地の防災施設整備の必要性をどう認識しているか。③災害用トイレの確保は重要である。現在の整備状況と今後の計画はどうか。④平成1丁目地内の国有地を取得し、防災機能を併せ持った公園として整備してはどうか。

**答弁** ①耐震化率は全体で平成24年度末60%で、学校関係94%、公共施設40%、町内集会施設56%である。②市街地内の遊休地、公園などの整備は有効であると認識している。③中越大地震の教訓から、代替機能として避難所などに非常用マンホールトイ

レを整備しており、工事中の市庁舎の8基を含め合計39基ある。今後は防災公園にも整備する。

④整備の必要性は理解しているが、市全体の優先度から直ちに取得し整備する状況ではない。

## 当市の組織改革・人事政策について

長谷川有理 議員

**質問** 住民要望が多種多様化する中で行政が住民に的確に応えていくためには人材育成は特に重要である。国・県・民間団体との人事交流を図るべき。

**答弁** 積極的に実施していく。

**質問** 市職員の連続する不祥事をうけ綱紀粛正をどう指導していくのか。市民の反応を市長としてどう受け止めるのか。

**答弁** 事件は遺憾であり残念。処分は妥当との意見を頂戴している。信頼回復に努める。

**質問** 専門職の多い部門等、職員構成が変わらず配置期間も長い。ため、固定化した部署への意識改革や人事方針の見直しを。

**答弁** 他職種との交流は困難であり組織内での定期的な業務異動や各種研修制度を活用する。



小千谷中学校運動会

**質問** 教育長は教育委員会制度改革の問題を当市の教育行政に照らしどう認識しているのか。

**教育長答弁** 教育委員会内での改善に向けた方策を検討したい。

**質問** 市民が可視化できる教育委員会の情報発信の改善を。

**教育長答弁** 会議は原則公開だが、日時や議案等の情報をホームページに掲載する等改善していく。

**質問** 不祥事、組織としての強い危機感を感じられない。

**答弁** 職員に権限と責任を与えていく。信頼し信頼される仕事を職員に理解させたい。

**質問** 本年の教育委員会会議4月は13分。5月は15分。6月は26分。7月は20分の会議時間。

この中で当市の教育課題が議論できているのか。市民との協働

による開かれた教育行政の推進を図るため、教育委員や社会教育委員を公募すべき。

**教育長答弁** 公募も検討する。

## 小千谷市の農林水産業について

阿部 正行 議員

1. 稲作について

**質問** 新規就農者の実態と指導方法について

**答弁** 就農予定者は6人で、農地プランの青年就農給付金を活用し各種支援を行う。

**質問** 魚沼産コシヒカリのブランド力の高め方について

**答弁** 5割減栽培の普及に努め食味計の導入等支援する。

**質問** 米の販売について

**答弁** JAにおいて早期需要の確保等に努め効果的な宣伝をする。

**質問** 中山間地対策について

**答弁** 農業生産のほか国土保全等多面的要素があり国県の支援制度を多に活用したい。

2. 園芸について

**質問** 園芸作物の加工、流通、販売について

**答弁** スイカ、メロン等各栽培組合の取り組みにより栽培技術が

向上し商品化について連携する。

**質問** 直売所の新設について

**答弁** 現在の直売所15軒でこれの支援と新設について研究する。

3. 畜産業について

**質問** 振興方法について

**答弁** 飼料の高騰等厳しい環境だが牛ふんを活用し循環農業の構築と広域の長岡市営牧場の利用を推進したい。

4. 林業について

**質問** 森林組合立ち上げについて

**答弁** 林業の低迷は全国的なものがあり不採算性が要因。十日町森林組合を活用し新しい組合の立ち上げは考えていない。

**質問** 中山間地対策について

**答弁** 国土保全等の観点から森林は大事であり国県の事業を大いに活用したい。

5. 内水面漁業について

**質問** 販路拡大について

**答弁** 品評会等で錦鯉の魅力を宣伝し販路拡大に向け支援したい。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 第4回定例会開催予定

- 11月28日(木) 第1日 議案上程説明
- 11月29日(金)～12月3日(水) 各常任委員会で審査
- 12月12日(木) 第2日 一般質問
- 12月13日(金) 第3日 一般質問  
(質問者が多い場合に開催)
- 12月17日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。  
各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(☎83-3505)へお問い合わせください。  
また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。  
URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

# 議会目誌

7月～9月

## 〈7月〉

3日 宮城県加美町議会行政視察に來市

8日 議会報編集委員会

9日 山形県真室川町議会、秋田県鹿角市議会行政視察に來市

12日 議会報編集委員会

16日 政友会行政視察に出発（福井県福井市・富山県魚津市）

〃 水明会行政視察に出発（岩手県野田村・宮城県女川町）

23日 民生産業委員会と商工会議所との市内企業視察会

〃 緑風クラブ行政視察に出発（福島県南相馬市・いわき市）

26日 全国市議会議長会建設運輸委員会（東京都）

8日 民生産業委員協議会

9日 市議会緊急報告会

19日 中越地区市議会合同議員研修会（三条市）

26日 議会運営委員会

29日 県市議会議長会秋季定期総会（南魚沼市）

30日 議員協議会

## 〈9月〉

2日 第3回定例会（本会議）

〃 議会報編集委員会

3日 常任委員会連合審査会

4日 常任委員会連合審査会

5日 総務文教委員会

6日 民生産業委員会

18日 議会運営委員会

〃 本会議（第2日）

〃 議会報編集委員会

24日 議会運営委員会

〃 本会議（第3日）

### 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。（録画映像は本会議終了後、通常、休日（土日・祝祭日等）を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまでの間ご覧いただけます。）

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



鈴木 秀夫（平沢 1）

トバイを通じて全国の仲間と付き合いができました。

私は今日まで様々な災害や経済変化を巧みに切り抜けてきた人たちの中に、多くのライダーと接してきました。それはライディングから会得する自己防衛力、危険予知能力、適応力、対応力など。体と脳の健康は五感の働き、オートバイとの生活から得られる幅広い効用が生かされているのではないかと感じています。近年オートバイライディングは、医学上でも健康志向に役立ち、オートバイとの共存が豊かな人生の一助になるとが立証されました。

ますます厳しさを増す交通環境の渦中において、真にモーターサイクルを愛する私たちは、道路交通法の精神に従い、これを遵守し広く社会に理解され、親しまれるモーターサイクリストの模範となるべく交通安全に努めていきます。

人生歩むこと80年。後期高齢者になったけれど、若い時と同じコロンデションで走っている。



### 編集後記

10月に入っても真夏並みの暑い日がありましたが、ようやく秋らしい気候になってきました。

唱歌に「もみじ」がありますが、紅葉にはまだしばらく時間がかかりそうです。しかし、スキの穂が風に揺られています。そういえば、この頃「赤とんぼ」を見かけなくなりました。秋が深まるにつれ、山から里に降りてきて、人家の周りでもよく見かけたものです。これも地球温暖化による影響なのでしょう。今冬は、また寒く、雪も多量という予報が出ております。11月に入りますと、雪囲い等の冬の準備が始まります。予報が外れて、今冬は雪が少ないうことを願っておりますが、こればかりは思うようにはいきません。

これからもしばらく気候が不安定な日が続くことと思われませんが、どうぞお体にはお気を付けてください。

